

もっと
知りたい!

Q&A



Q.空港には他にどんな仕事があるのですか?

A.安全を確保する仕事として、消防士、バードパトロール、警察官、警備員などがあります。また、旅客ターミナルを利用するお客様にサービスを提供するため、飲食店、小売店、レンタカー、両替、総合案内所などで様々な職業の人たちが働いています。



航空整備士

航空機を安全に運航させるために、高度に精密化した機体を構成する何万という部品の精度・性能が正しく機能しているかを点検・保守するのが仕事です。各航空会社や航空機メーカーが設けているチェックリストをもとに整備作業を進めていきます。作業には日常のフライトで行う「運航整備」があります。これはフライト前の航空機には必ず行う点検作業で、国家資格を持った航空整備士が最終的にOKを出さない限り、航空機は飛び立つことができません。その他、夜間に行う「定期整備」、一定の飛行時間を超えた航空機を点検する「機体重整備」があります。

この仕事に 就くには?

一般的には、大学の理工系学部や航空専門学校、高等専門学校で航空機等に関する技術や知識を学んだ後、航空会社や航空整備を専門とする会社へ就職します。実際に航空整備士として現場で働くには、国家資格に合格する必要があるため、入社後、さらなる勉強や訓練を積み重ねなければなりません。

やりがい

乗客の命を預かるという責任感を持って仕事をしています。航空機の進化に合わせて、自分自身も進化し続けなければなりません。常に上を目指して新しいことに挑戦できることがやりがいです。



グランドハンドリング

航空機の到着から出発するまでに必要な、地上での作業全般を指します。航空機の安全で定時の運航を支援するのが使命であり、「航空機地上支援業務」とも呼ばれています。航空機を駐機場まで誘導したり、手荷物・貨物コンテナを移動したり、さらに燃料補給、機内清掃、飲食物の準備なども含まれます。また空港で乗客に接する「旅客ハンドリング業務」や、乗客が預けた荷物を行き先別に仕分けてコンテナに積み込む「貨物ハンドリング業務」が含まれる事もあります。

この仕事に 就くには?

高校を卒業後、大学や航空関係の専門学校に進学し知識と技術を身につけて、グランドハンドリングを専門に行う会社へ就職します。危険物取扱主任者、大型特殊自動車免許、けん引自動車免許、フォークリフトなどの専門的な作業資格は、社内での訓練を経ながら、一つずつ取得していきます。

やりがい

通常時はもちろん、台風などの悪天候の際に、安全に準備作業を整えて、定刻に出発できると大きな喜びを感じます。